学校番号	１０１２

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	映像表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

スマートフォンやパソコンを使い、アニメーション及びショートムービーを作る。初めは、スマホやパソコン、アプリケーションソフトの使用方法の習得を兼ねて、ストップモーション作品をグループで制作する。原案、絵コンテ、作画、撮影、編集、録音の過程をへて、それぞれのプロセスを体験することにより、映像の成り立ちを理解しイメージを形にする力を養うことを目標とする。
また映画鑑賞を通して映像による表現方法の効果について考える機会を作る。様々な映像メディア表現が身近にあり、インタラクティブアートやプロジェクションマッピングなどに触れることができるように、夏休みを利用して鑑賞の機会を作るなど、将来的にメディアアート分野への興味関心を育てていく。

2　学習の到達目標

・映像制作を通してスマートフォンやMacなどの機器の機能や使用方法を理解し、必要な用具を自分で選択し、使い方を工夫できる力を身に付ける。
・さまざまな映像作品を鑑賞し、美しさやおもしろさ、それぞれの特色を感じ取ることで映像制作に関心を持ち、表したい主題を生成して工夫を重ね制作できる。また、現代の映像メディア表現や撮影技法などにも目を向け、創造的な思考力、判断力、表現力を身に付ける。
・制作や鑑賞を通して映像表現の可能性を追求する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・映像表現について理解し、自分の主題にあった撮影方法や編集を考え、効果的な表現ができる知識と技術を身に付ける。	・映像作品がどのように制作されているのかを制作、鑑賞を通して想像し、自らの表現に生かすことができる。 ・自ら主題を生成し、その主題を表現するために創意工夫した素材や道具、効果的な構想を考えたり、選択したりできる	・映像の成り立ちを理解して意欲的に取り組むことができる ・映像技法の特性を理解し、個人やグループでの活動に積極的に取り組むことができる ・振り返りシートに制作に取り入れたいことなど意欲につながる記述ができている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	映像アートとは	・動画と映像の違い ・映像クリエイターとは ・カメラワーク などについて知識を身に着ける。	a:映像と何かを考え、映像作品ならではの表現について考えることができる。 b:参考動画作品を鑑賞し、工夫している点など見つけることができる。 c:興味関心をもって映像作品を鑑賞している。	・穴埋めシート	・振り返りシート	・授業態度
	ストップモーション「こんなことできません」	①アイデア出し(個人) ②撮影計画(グループ) 内容をグループで話し合い、絵コンテを作成する。 また、撮影の計画と役割を決定する。 ③撮影(グループ) 校内で効率よく撮影を行う ④編集(個人) 写真の移動や、音の録音などを含めた編集を行う。 ⑤振り返り	a:撮影方法の特性を理解したうえで、撮影ができている。 編集において効果的な表現ができる。 b:アイデアを複数だし、効果的な構想を選択できている。 映像技法の特性を理解し、個人やグループでの活動に積極的に取り組むことができる。 c:主体的に造形活動に取り組み、より目的に合った表現をしようとしている。	・絵コンテシート ・作品	・アイデア、制作計画シート ・絵コンテシート ・グループ制作でのチームワーク	・授業態度 ・振り返りシート
	鑑賞	・様々な映像、アニメーション映画を鑑賞する ・過去の映像を鑑賞する ・アニメーションの原理を知る	a:アニメーションについての知識を深めることができる。 b:感想シートに制作に取り入れたいことなどを記述できている。 c:積極的に鑑賞している。	・振り返りシート	・振り返りシート ・感想シート	・授業態度 ・振り返りシート
2学期	アニメーション「単純な形」	①アイデア出し ②制作計画 アイデアをまとめ、単純な形(○、△、□など)がどのように動くか考え絵コンテを作成する。 ③原画を描く。 ④撮影する。 ⑤編集する	a:動きや音楽、効果音、光や色調などを工夫できる。 b:アニメーションをどのようにして作っているのか想像し、自らの表現に生かすことができる。 c: 映像の成り立ちを理解して意欲的に取り組むことができる。	・絵コンテシート ・原画 ・作品	・絵コンテシート ・原画 ・作品	・授業態度 ・振り返りシート

	しりとりアニメーション	①しりとりを全員で決める ②自分の担当の絵の変化のアイデアを出し、絵コンテを制作する ③原画を描く。 ④撮影する。 ⑤編集する。 ⑥全員のものを合わせて鑑賞する。	a: 自分の作品が面白くなるよう工夫や試行錯誤を繰り返し、物の変化が自然な動きになる工夫ができる。 b:アニメーションをどのようにして作っているのか想像し、自らの表現に生かすことができる。 c:主体的に造形活動に取り組み、より目的に合った表現をしようとしている。	・絵コンテシート ・原画 ・作品	・絵コンテシート ・原画 ・作品	・授業態度 ・振り返りシート
	CM制作	①参考CM鑑賞 ②アイデア出し 地元PR、啓発、商品など自分が他者へ伝えたいことは何かを考える ③制作計画 アイデアをまとめ、絵コンテを制作する ④道具の制作、撮影 ⑤編集	a:撮影方法の特性を理解したうえで、撮影ができている 編集において効果的な表現ができる。 b:アイデアを複数だし、効果的な構想を選択できている。 創意工夫した素材や道具などが使用されている。 c:主体的に造形活動に取り組み、より目的に合った表現をしようとしている。	・絵コンテシート ・作品	・アイデア、制作計画シート ・絵コンテシート ・作品	・授業態度 ・振り返りシート
	デジタルアートについて	プロジェクションマッピングなど最新のメディアアートの鑑賞	a:プロジェクションマッピングなど現代の映像メディア表現についての知識を深めることができる。 b:感想シートに制作に取り入れたいことなどを記述できている。 c:積極的に鑑賞している。	・振り返りシート	・感想シート ・振り返りシート	・授業態度 ・振り返りシート
3学期	**卒業制作**	表現方法を自由選択 ◇クレイアニメーション ◇手描きのアニメーション ◇プローモーションビデオ ・撮影 ・テロップの制作、挿入 ・音源の制作、挿入 ・その他編集 これまでの作品鑑賞	a: 効果的なカメラワーク、音源やテロップなど、適切に編集することができる。 b:作品の意図や伝えたいこと、キャラクターや世界観などが創造的に表現できている。 ・色やカットのタイミングなどを工夫した表現の試みができる。 ・ストーリーやイメージが視聴者に効果的に伝わるような展開が考えられている。 c:主体的に造形活動に取り組み、より目的に合った表現をしようとしている。	・作品	・アイデア、制作計画シート ・絵コンテシート ・作品 ・振り返りシート ・感想シート	・授業態度 ・振り返りシート ・感想シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度